おやま市議会だより

第320号

●主な内容

令和6年度一般会計補正予算を可決
令和5年度特別会計・事業会計決算を認定

議案とその内容…… ②・③
審議結果…… ③
委員会報告…… ④～⑥
市政一般質問…… ⑦～⑪
議会日誌…… ⑪
視察来訪・議場見学…… ⑫
次回定例会の予定…… ⑫

令和６年11月１日号



秋探し（撮影場所：あけぼの公園　撮影者：岩木　真己 氏）

小山市議会　編集　議会広報委員会

9月定例会のあらまし

令和6年9月3日～9月30日

令和6年第4回（9月）定例会は、9月3日から9月30日まで28日間の会期で開かれました。9月定例会では、令和6年度補正予算案をはじめ、令和5年度全会計決算の認定案、条例の一部改正案などについて審議しました。9月3日、市長から所信表明および市政一般・近況について報告がありました。続いて、議案21件、報告4件が上程され、提案理由の説明を受けました。9月5日、6日、9日および10日は、5会派および7人の議員が市政一般質問を行いました。10日は、上程議案に対する質疑の後、議案を各委員会へ付託しました。また、9月12日、13日および17日から19日まで各委員会が開かれ、議案を審査しました。9月30日には、各委員長報告があり、審議の結果、議案20件を可決・認定、議案1件を継続審査とし、定例会を閉会しました。



所信表明を行う浅野市長

主な議案

9月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。
議案等の詳細な内容については、右の二次元コードよりご覧ください。

議案書など
（小山市議会ホームページ）

◆令和6年度小山市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ3億6615万4000円の増額補正。公共施設等有効活用推進事業費、予防接種費、中小企業等省エネルギー設備導入支援事業費、公園管理事業費など、補正後の総額は734億9668万9000円。

◆指定管理者の指定について

小山市学童保育館の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により提案するもの。

①施設名称：大谷北小第二学童保育館
指定管理者となる団体：特定非営利活動法人　三楽
指定の期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

②施設名称：【仮称】新・羽川小学童保育館
指定管理者となる団体：株式会社アンフィニ
指定の期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日まで


大谷北小第二学童保育館

◆小山市市民交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

小山市間々田市民交流センター、小山市小山城南市民交流センターおよび小山市桑市民交流センターの施設使用料を改定することに伴い、所要の改正をするもの。

◆小山市国民健康保険条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、国民健康保険法が改正され、現行の被保険者証について令和6年12月2日から新規発行が終了し、マイナンバーカードの健康保険証利用を基本とする仕組みに移行することから、所要の改正をするもの。

◆小山市保育所条例の一部改正について

老朽化した小山市立もみじ保育所の民設民営化完了までの間の仮園舎への移転、および小山市立間々田北保育所と小山市立網戸保育所の統合に伴う新設保育所完成までの間の仮園舎への移転に伴い、所要の改正をするもの。

令和6年第4回定例会（9月）審議結果

議決結果

議案番号	件　　名	議決結果	
予　算			
議案第68号	令和6年度小山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
議案第69号	令和6年度小山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
決　算			
議案第70号	令和5年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全会一致
議案第71号	令和5年度小山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第72号	令和5年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第73号	令和5年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第74号	令和5年度小山市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第75号	令和5年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第76号	令和5年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第77号	令和5年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第78号	令和5度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第79号	令和5年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第80号	令和5年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
議案第81号	令和5年度小山市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
条　例			
議案第82号	小山市税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第83号	小山市都市計画税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第84号	小山市市民交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第85号	小山市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第86号	小山市保育所条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第87号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第88号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決	全会一致

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ています。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総　務



▼令和5年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問　近年の歳入歳出決算を確認すると、借入金の返済が主で、新たな先行用地の取得はないが、今後この特別会計を活用する見通しは。

答　令和6年度に新小山市立博物館および間々田のじゃがまいた伝承館整備用地を取得するため、この特別会計を活用する予定です。

▼小山市都市計画税条例の一部改正について

問　今回の改正は、オープンスペース化された土地や家屋等に係る税軽減措置に関する規定を追加するものだが、このオープンスペース化とはなにか。

答　この事業は一体型滞在快適性等向上事業で、居心地がよく歩きたくなる街なかの形成を目指す事業です。この事業により整備した民間地の開放を、オープンスペース化と表現しています。

民　生



▼令和5年度小山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問　決算剰余金5億7257万2000円について、令和6年度に基金への繰り入れを行わなかった理由は。

答　主な理由は、令和6年度は減税方向の税率改定を実施しており、税収が減額となる見込みであること。また、県内医療費が上昇傾向にあり、保険給付が増加する見込みであること。さらに、県に納める納付金も上昇することが考えられ、令和6年度から令和7年度にかけて歳入不足が見込まれること。これらのことから、歳入不足が生じた際の補填財源とすることを想定したためです。

▼令和5年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問　高齢者虐待防止ネットワーク運営事業について、虐待の相談や事案が発生した場合、どのように対応しているのか。

答　市民やケアマネジャー、高齢者サポートセンター等から通報があった際には、事実確認を行い、高齢者サポートセンターおよび高齢生きがい課で構成されるコアメンバー会議において、緊急性があるか等について協議し、緊急性がある場合には、施設へ入所させるなど、家族等と分離させることもあります。

▼令和5年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

問　後期高齢者医療保険の被保険者数の推移と、今後の見込みは。

答　令和5年4月1日時点での後期高齢者医療保険の被保険者数は2万1393人でしたが、令和6年4月1日時点では2万2250人であり、857人の増加となりました。すこやか長寿プラン2024の高齢者人口推計によると、2040年までに、後期高齢者は約4700人の増加が見込まれていることから、被保険者数も増加すると考えています。

▼令和5年小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問　歳入の管理手数料に収入未済額が発生した理由と、対応策は。

答　芝生墓地は年間5400円の管理手数料を徴収していますが、購入者が高齢になり支払いが難しくなっていることや、承継人が市外に居住していることで、墓地の管理意識が低下していることなどが主な理由と思われます。対応策として、承継人が市外に居住している場合でも、手間なく支払いができるよう、令和6年10月以降に指定金融機関のみで支払いが可能な納付書から、コンビニエンスストアでも支払える納付書に変更する予定です。

教育経済



▼令和5年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について

問　令和4年度に中央棟および中央棟東側に防鳥ネットを設置しており、さらに令和5年度にも防鳥ネット新設工事を実施しているが、その内容は。

答　防鳥ネットは競り場に鳥が入らないようにするもので、令和4年度は青果部の最も被害の大きい場所に2カ所ネットを張りましたが、別の場所に鳥が入るようになってしまったため、令和5年度はそちらにネットを設置しました。

▼令和5年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問　与良川第二排水機場が1日稼働した理由は。また、排水機場が稼働する基準は。

答　与良川第二排水機場が稼働した理由は、令和5年6月3日に、台風2号の影響により渡良瀬遊水地第2調節池の水位が上昇し、生井地区の幹線水路へ逆流したことから、強制的にポンプで排水するため稼働しました。排水機場が稼働する基準は、各排水機場の場所が異なるため一概には言えませんが、観晃橋の水位が3メートル程度に上昇した時が目安となります。



与良川第二排水機場

建設水道



▼令和5年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問　法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率について、令和5年度は22.82パーセントと令和4年度に比べ増加しているが、今後の管路更新の見通しは。

答　令和5年度の管路経年化率については、昭和58年度に供用が開始された羽川西浄水場からの基幹管路等の約85キロメートル分が計上されたため、令和4年度に比べて増加しています。また、管路更新については老朽管更新と併せて耐震化も重要であり、令和5年度の水道管総延長1008キロメートルのうち、耐震化に適合している割合は約36パーセントとなっています。災害発生時等の断水を最小限に抑えるため、浄水場から出る基幹管路、基幹管路と避難所や医療機関をつなぐ重要管路、および老朽管路から優先順を決め、年次計画を立てながら管路を更新していきます。

▼令和5年度小山市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問　農業集落排水事業の施設および水路については、建設後、時間が経過しているものが多いと思うが、整備の状況は。

答　農業集落排水事業に係る施設は14カ所あり、日々メンテナンスを実施しています。令和2年2月に策定した小山市農業集落排水事業最適整備構想において施設の再編等を検討しており、農業集落排水の利用者が減少していることも考慮し、老朽化対策として施設の統廃合および公共下水道への切り替え等の方向性を示しています。統廃合等も含め、施設の更新時期を見据えながら、将来的に適切な維持管理ができるよう進めていきます。

予算審査



▼令和6年度小山市一般会計補正予算（第3号）

問　予防接種費が増額補正となるが、その算定根拠は。

答　令和6年度から新型コロナワクチンが定期接種化するため、委託料を中心とした費用を計上しています。同じB類の予防接種である季節性インフルエンザの接種率を参考に、65歳以上の高齢者（令和6年7月1日現在、4万3800人）の約53パーセントとなる2万3200人を見込んで算出しました。

問　小山総合公園のトイレのマンホールポンプを交換するため、公園管理事業費を増額補正するとのことだが、工事の詳細やスケジュール、公園利用者への影響は。

答　市道40号線の橋のたもと、および小山総合公園の南東端にあるマンホールポンプ場において、それぞれ2機、合計4機のポンプを交換する工事を行います。令和6年11月中旬に入札を行い、12月ごろ事業者が決定する見込みですが、ポンプの作成に3カ月程度かかると聞いており、工事完了は令和7年度になると想定しています。工事は2週間程度かかるため、その間は仮設トイレで対応します。

市政を問う

９月定例会 市政一般質問



各議員の顔写真の下の二次元コードを
スマートフォン等で読み取ると、
質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の
負担となります。



※イラストの二次元コードはイメージです。

会派代表質問（発言順に掲載）

自民未来塾



関　良平
議員

福田　幸平
福田　洋一
篠﨑　佳之
高橋　　栄
廣瀬　武蔵

動画はこちら

問 市長の政治姿勢について、市長2期目第2ステージの具体的な重点目標は。

副市長 小山市を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しており、柔軟かつ迅速な対応が求められています。また、農村地域で顕著となっている人口減少、少子高齢化や地球温暖化、気候変動による災害の激甚化等の社会問題にも直面しています。これらの課題に取り組むための具体的な重点施策として、「農村地域の人口減少対策」「こども・子育て支援体制の構築」「おーバスをはじめとする公共交通の充実」「官民連携によるゼロカーボン・ネイチャーポジティブの実現」「市民から要望されている緊急課題への対応」の5つの施策を推進していきます。

問 小山市立文化センターを今後どのように考えているのか。

理財部長 昭和53年に建設された、小山市中央市民会館（小山市立文化センター）は、老朽化が著しいため、令和5年度に、基礎調査やアンケート調査、市民参加型ワークショップ、民間事業者へのヒアリング等を行い、大勢の方々から幅広い意見をいただき、新市民会館に求められる機能や規模、民間活力導入を含めた事業手法の選択肢、事業化に向けた課題の抽出等のとりまとめを行いました。今後は、これらの意見を反映した整備が行えるよう、市議会の意見も伺いながら、早急に候補地の選定を行っていきます。

質問事項　①市長の政治姿勢 ②理財行政 ③総務行政 ④都市整備行政 ⑤建設行政
⑥市民生活行政 ⑦防災行政 ⑧農村整備行政

本会議はインターネットでご覧になれます。



市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご活用ください。

（小山市議会ホームページからリンクしています。）
https://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/

議会だより表紙写真募集



●あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
●小山市内で撮影された写真、または小山市の魅力が伝わる写真を随時募集しています。
●議会だよりは1月・2月・5月・8月・11月に発行しています。
●詳しくは議会ホームページまたは議会事務局までお気軽に！
あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
連絡先／22-9463

市　政　会



小林　英恵
議員

植村　　一
橋本　守行
嶋田　積男
渡辺　一男
細野　大樹

動画はこちら

問 不登校児童生徒の対策について、浅野市長の政治姿勢を伺う。

市長 市内の不登校児童生徒数は、令和4年度は520名で、令和5年度末は613名でした。不登校児童生徒の急増は、しっかりとした対応が必要な大変重要な問題だと捉えています。従来、不登校児童生徒には適応指導教室アルカディアに通ってもらい、適応指導をしながら学校に戻ってもらうシステムがありますが、最近アルカディアを利用している児童生徒は数十名程度という現実があります。また、学校に戻れる児童生徒については、これからも適応指導が必要である一方で、適応指導になじまない児童生徒や、いろいろな働きかけをしても学校に戻すことが難しい児童生徒が多数いるのも現実です。そのような児童生徒が学び、進学できる仕組みも整えていく必要があると考えています。そこで、組織再編により、こども家庭分野を保健福祉部から教育委員会に移管することを検討しています。移管になった場合は、学校教育部門とこども家庭部門が一体となった形で、不登校の児童生徒については、学校に通わなくても学べる、進学できる、そして将来的には就職できるという仕組みの構築に取り組んでいきたいと考えています。

問 事故多発箇所の交通安全対策について伺う。

市民生活部長 交通事故発生箇所の対策としては、死亡事故が発生した場合は、小山警察署、市および関係機関等が合同で現場診断を行い、事故現場の問題点を協議し、その時点でできる改善策をその都度講じています。また、事故現場付近で警察と市の職員が合同で交通安全のチラシを配布しています。

質問事項　①市長の政治姿勢 ②間々田地区行政 ③交通安全対策

市民派21



直井　一博
議員

山野井　孝
大内　晃子
石川　敦子

動画はこちら

問 市長2期目の任期では、市民のより良い暮らしのため、市の抱える課題にどのように向き合っていくのか伺いたい。

市長 市制施行70周年を迎えた小山市は、幸い人口減少率、高齢化率ともに県内最小と見込まれていますが、風土性調査においては地域の衰退を不安視する声が寄せられています。このため、田園環境都市おやまビジョンにおいて多様な魅力あふれる小山の姿を描き、必要な施策について早急に道筋をつけるとともに、徹底した市民と行政との対話と連携を継続させます。また、行政運営の要である市職員については職員であり市民でもあるため、積極的に市民と連携し、その声をしっかり聞く職員を1人でも多く育てていきます。そして、これからの4年間で30年後の小山市を託された若い人たちが活躍できるまちづくりの土台を作り、市民が主役の小山市政を実現していきます。

問 市にとって重要な史跡である中久喜城跡が民有地となっているが、安定的な保管のために公有化すべきでは。

教育部長 史跡整備の実施にあたり、保存活用計画の策定と史跡指定地の公有化は重要と考えます。市教育委員会の調べによると、中久喜城跡の指定地内は132筆あり、地権者は30名以上となるため、現在は地権者の調査を進めています。調査後は、史跡整備や史跡指定地の公有化について、地権者の方々にご説明の上、寄付等のご意向を改めて確認したいと考えています。

質問事項　①市長の政治姿勢 ②決算・予算 ③人事行政 ④消費生活行政 ⑤教育行政
⑥文化振興行政 ⑦福祉行政

公明党議員会



大平　拓史
議員

荒川美代子
佐藤　忠博

動画はこちら

問 財政の「マネジメント強化」と「見える化」のため、市の中長期的な財政計画を策定し公表することについて伺いたい。

理財部長 小山市では毎年、健全で持続可能な財政運営を維持していくため、5年間を計画期間とする中期財政収支見込みを作成していますが、次年度予算要求の基礎資料として、事業が計画通りに進んだ場合に、どれだけの財源不足が生じる見込みかを全庁的に共有するためのもので、事業の優先順位を設定するものではありません。今後は、将来を見据えた財政運営のため、他市の取り組み等について調査研究していきます。

問 小山市中小企業・小規模企業振興条例に基づく、市内の教育機関との人材確保・育成の取り組みと成果は。

産業観光部長 小山市では高等教育機関と連携し、市内で開催される各種就職説明会に学生の参加を呼び掛ける活動を行っています。おやま産学官ネットワークが開催したインターンシップ合同説明会では、会場内にブースを設け、小山市に住みながら市内企業で働く魅力の発信を行っており、企業から、学生と顔を合わせながらアピールできる場ができてありがたい、との意見を頂戴しています。また、お子さまが物づくりの楽しさや、科学のすばらしさを知り、市内企業への興味を持つきっかけになるよう、地元企業と連携した科学体験バスツアーも開催しています。定員40名のところ、毎回定員を超える申し込みがあり、大変好評となっています。

質問事項　①令和5年度決算報告 ②行政評価制度の運用 ③小山市中小企業・小規模企業振興基本条例 ④イノシシ対策 ⑤市民生活行政

おやま創生会



永田 健一朗
議員

苅部　勉

動画はこちら

問 子宮頸がん検診について、異常の無い場合3年後の受診でよい根拠は。また、市ホームページを、それが分かる記載にできるか。

保健福祉部長 小山市の子宮頸がん検診では、がんを疑う異常細胞の有無を調べる細胞診、および子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染の有無を調べるHPV-DNA検査の併用検診を行っています。受診間隔は日本産婦人科医会が推奨しているフローチャートに沿って設定しており、この2つの検査で異常が認められない場合、3年間は子宮頸がんになるリスクが低くなるとされているため、3年後としています。また、ホームページ等を活用し、受診間隔の考え方も含めた検診の周知啓発に努めていきます。

問 不登校対策で、教育支援センターの運営を民間と共に行う考えはあるか。

教育長 小山市教育支援センターは、家から出られるが学校に行くことができない児童生徒を対象とした学びの場の一つです。ここで学び、生活することができている児童生徒がいる一方で、支援ニーズや交通の便等の理由で教育支援センターとつながっていない不登校児童生徒もいます。それぞれの状況やニーズに合わせ、さまざまな学びや体験活動にアクセスできるよう、近隣の民間団体等の把握や、必要に応じた連携に努め、教育支援センターの在り方について、今後も調査研究していきます。

質問事項　①子宮頸がん検診 ②不登校支援対策 ③認定こども園、幼稚園、保育所・保育園

個人質問（発言順に掲載）



荒川 美代子
議員

動画はこちら

問 年々気温が上昇している。「学校体育施設夜間開放事業」で体育館のエアコン使用を可能にすべきと思うが。

教育部長 小山市学校体育施設夜間開放事業は、スポーツ活動の普及推進を目的に、市内の小・中・義務教育学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で、5月から翌年2月の10カ月間開放し、市民に利用いただく事業です。全35校中30校が事業で使用されており、155団体、2171人が登録し活動しています。こうした中、市内の小・中・義務教育学校全ての体育館に空調設備が整備されたことや、市民ひとり1スポーツをより一層推進する観点から、令和6年度から空調設備を利用できるよう関係機関と調整していきます。

質問事項 ①保健福祉行政 ②防災減災 ③小山市学校体育施設夜間開放事業



平野 正敏
議員

動画はこちら

問 厚生労働省通知によると、こども医療適正化の取り組みとして、償還払い実施が特別交付金に反映されるが、小山市の取り扱いを問う。

市長 小山市のこども医療費助成制度は、令和5年4月の診療分から対象年齢を18歳までに拡大するとともに、県内の医療機関では窓口支払いが不要な現物給付方式とすることで利用者の負担軽減と利便性を高めてきました。現在、こども医療費助成件数の97パーセントが県内の医療機関を受診し、現物給付方式を利用していることなどを踏まえ、小山市としては今後もこども・子育て施策の取り組みを推進していく観点から、これまで通り全ての子育て家庭を支援するため、現物給付方式を継続していきたいと考えています。

質問事項 ①保健福祉行政 ②空き家対策



佐藤 忠博
議員

動画はこちら

問 高齢者支援を強化するため、「移動スーパー」や「買い物代行」の体制整備を新設すべきでは。

保健福祉部長 移動販売は小山市でも小売店やコンビニエンスストアが行っていますが、事業の採算が取れず撤退した事業所もあると聞いています。また、買い物代行は、介護保険サービスの訪問介護や、大手スーパーで行われていますが、介護認定を受けなければならないことや、インターネットの操作が必要になることなど課題があります。今後はますます高齢化や核家族化の進行によって、高齢者世帯の増加が予測されるため、買い物を含めた高齢者の困りごとの現状を把握し、民業圧迫や事業所の採算等も考慮しながら、持続可能な事業の在り方を調査研究していきます。

質問事項 ①福祉行政 ②市民生活行政 ③産業観光行政



大内 晃子
議員

動画はこちら

問 事件から20年がたつ。現在の児童虐待の現状と今後のオレンジリボンの取り組みについて伺う。

市長 小山市の児童虐待の件数は、令和3年度が232件、令和4年度が246件、令和5年度が297件と増加傾向にあります。オレンジリボンの活動については、児童虐待の現状などについて市民の理解を深めるため、令和6年度からオレンジリボンワークショップを開催しています。そこでの意見を参考に、令和7年度以降の取り組みにつなげていきたいと考えています。また、令和2年度以降、開催のないオレンジリボンたすきリレーについても、ワークショップでの意見を参考に、実行委員会において検討していきます。

質問事項 ①選挙 ②オレンジリボン ③SRHR ④学校行政



島　朋幸
議員

動画はこちら

問　市内の学校に「教育版マインクラフト」を導入し、プログラミング的思考の育成や、ものづくり教育に活用できないか。

教育長　教育版マインクラフトは、子どもたちの創造力やプログラミング的思考など、さまざまな資質・能力を育成できるソフトウエアとして、学校教育においても利用されています。導入している学校では、プログラミングの基礎学習や、家や学校などの設計や建築をするデジタルものづくり、SDGsや地域の課題を解決する協働学習などに活用されています。市内の学校では、プログラミング教育用教材や協働学習ツールなどを活用して同様の教育活動を展開しており、現在、教育版マインクラフトは導入していませんが、令和7年度に利用できるようにすることを計画しています。

質問事項　①オーバードーズ防止対策 ②土木行政 ③教育やまちづくり等における「マインクラフト」の活用



石川　敦子
議員

動画はこちら

問　市役所駐車場の入り口案内表示が分かりづらい。逆走等による事故が懸念されるので案内方法の改善などの対策を伺いたい。

理財部長　逆走しそうな車両は、平日は速やかに警備員が停止させ誘導しているため、現在まで大きな事故等が発生した事例はありません。一方で、夜間や休日などは原則警備員が配置されていないことから、逆走を防ぎ利用者のさらなる安全確保につながるよう、駐車場の導線を示した案内図や注意喚起の看板を設置するとともに、初めて市役所を訪れた方にも進行方法が一目で理解できるよう、効果的な路面標示について早急に検討します。

質問事項　①商業観光行政 ②市役所駐車場 ③鳥獣被害対策 ④学校施設整備 ⑤まちづくり行政



鶴見　貴弘
議員

動画はこちら

問　近年外国人によって平地林が伐採、整地され、建設機械や車両等の置き場となっているが、市の平地林を守る取り組みは。

産業観光部長　平地林を守る制度として保安林制度があります。これは保安林の伐採や土地の形質の変更等が制限されるもので、国または県が保安林として指定するものです。

都市整備部長　貴重な緑を良好な状態で保存するための市の制度として、保存樹木等の指定制度があります。これは指定基準に適合し、土地所有者等から承諾を得られた樹木等を保存樹木等として指定し、維持管理費の助成を行うものです。また、景観重要樹木の指定として、地域のランドマークの役割を果たしている樹木などで、維持管理を積極的かつ継続的に行っているものを指定する制度もありますが、現在までの実績はありません。

質問事項　①市民の市政に対する関心の向上に向けた取り組み ②土木行政 ③多文化共生事業

議会日誌

〔7月〕
23日　栃木県南6市議会議長会定例会および研修会
26日　第315回栃木県市議会議長会議
〔8月〕
2日　議員説明会
9日　議員説明会／議会運営委員会／会派代表者会議
28日　議会運営委員会
〔9月〕
3日　議会運営委員会／議会広報委員会
9日　議会運営委員会
10日　議員の処遇等検討専門部会／会派代表者会議／議会改革推進協議会理事会
12日　民生常任委員会
13日　教育経済常任委員会
17日　建設水道常任委員会
18日　総務常任委員会
19日　議会報告会運営委員会／予算審査常任委員会／決算審査特別委員会
30日　議会報告会運営委員会
〔10月〕
5日　小山市中学生模擬議会任命式・第1回研修会
15日　議会広報委員会／議員説明会／議員の処遇等検討専門部会

視察来訪

〔8月〕
1日　浜松市議会（静岡県）9名
　＝渡良瀬遊水地観光地化推進5か年計画
5日　三豊市議会（香川県）4名
　＝有機農業に関する取り組み
7日　千代田町議会（群馬県）6名
　＝ふるさと納税の商品開発と寄付金の活用方法
8日　結城市議会（茨城県）17名＝絹義務教育学校
20日　阿見町議会（茨城県）6名
　＝給食食材の有機農産物活用
〔10月〕
8日　小牧市議会（愛知県）3名
　＝有機農業への取り組み
11日　北見市議会（北海道）4名
　＝空き家対策

議場見学

〔7月〕
8日　小山地区女性学級　23名
〔10月〕
11日　大谷南小　15名

次回定例会の予定

11月28日（木）	本会議（開会・議案上程）
12月 2日（月）	本会議（一般質問）
12月 3日（火）	本会議（一般質問）
12月 4日（水）	本会議（一般質問）
12月 5日（木）	本会議（一般質問・付託）
12月 9日（月）	委員会
12月10日（火）	委員会
12月11日（水）	委員会
12月12日（木）	委員会
12月13日（金）	委員会
12月23日（月）	本会議（採決・閉会）

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定後、ホームページでお知らせします。

令和6年第4回定例会の傍聴者数

9月定例会の傍聴者数は、52人でした。

9月 3日＝ 4人 ・ 5日＝11人
6日＝12人 ・ 9日＝20人
10日＝ 4人 ・ 30日＝ 1人



市議会議員の紹介

令和5年4月23日執行の小山市議会議員選挙における更正決定のための選挙会が令和6年9月6日に開かれ、荒井覚氏が新たな当選人に決定いたしました。



荒井　覚 議員

所属委員会
民生常任委員会、決算審査特別委員会
小山駅周辺都市整備対策特別委員会

編集後記

数カ月前のある日、市内で風に揺れる稲穂とそれを刈り取る農家の方々を拝見し、「もう秋だな」と思ったその時の気温は35度前後。「稲」「稲穂」は秋の季語なのに…と思いながら、気象状況の変化を改めて感じました。

このようにかつては当たり前だったことが変わってゆくのは、市政においても同じです。変化に対応しながらより良い小山市を創ってゆく使命が、私たち市議会議員にはあると思っています。そして、私を含め、議員1人で全ての市政課題を網羅することはできません。おのおのが知見の深い分野、関心のあるテーマに取り組みながら補い合い、市執行部と率直に意見を交わすことで、少しでも市民の皆さまのお役に立てる市政になるのだと思います。

各議員の思いや取り組みの一端を、この市議会だよりでご覧いただければ幸いです。　（永田）

令和6年11月1日号　小山市議会発行
小山市議会事務局　栃木県小山市中央町1-1-1　電話0285-22-9463